
日本経済展望

2018年9月

 株式会社 **日本総合研究所**

調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/japan>

目次

◆現状	p. 1
◆景気分析	p. 3
◆トピックス	p. 7
◆見通し	
経済	p. 8
物価、金融政策、金利	p. 9
◆内外市場データ	p. 10

調査部 マクロ経済研究センター（国内経済グループ）

総括	安井 洋輔	（ Tel: 03-6833-6334 Mail: yasui.yosuke@jri.co.jp ）
ファンダメンタルズ	村瀬 拓人	（ Tel: 03-6833-6096 Mail: murase.takuto@jri.co.jp ）
外需	石田 宏一	（ Tel: 03-6833-2806 Mail: ishida.koichi@jri.co.jp ）
企業部門	菊地 秀朗	（ Tel: 03-6833-6228 Mail: kikuchi.hideaki@jri.co.jp ）
家計部門、雇用賃金	佐藤 貴憲	（ Tel: 03-6833-1694 Mail: sato.takanori@jri.co.jp ）
トピックス	石田 宏一	
金利	石田 宏一	
ファンダメンタルズ（現状分析）	浅野 洋介	（ Tel: 03-6833-6947 Mail: asano.tP31756@jri.co.jp ）

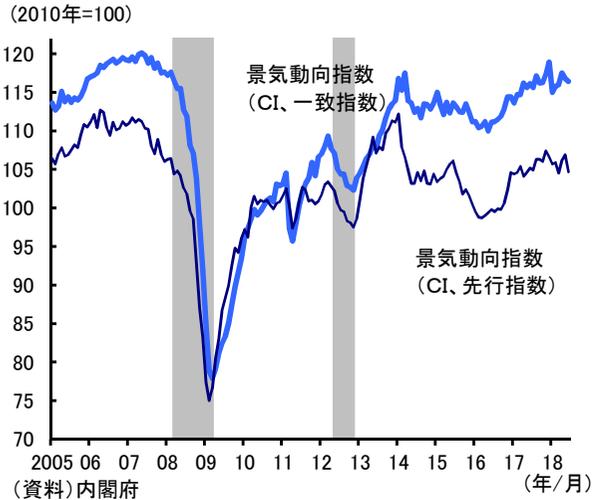
本資料は2018年9月4日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。

概況：景気は回復基調が持続

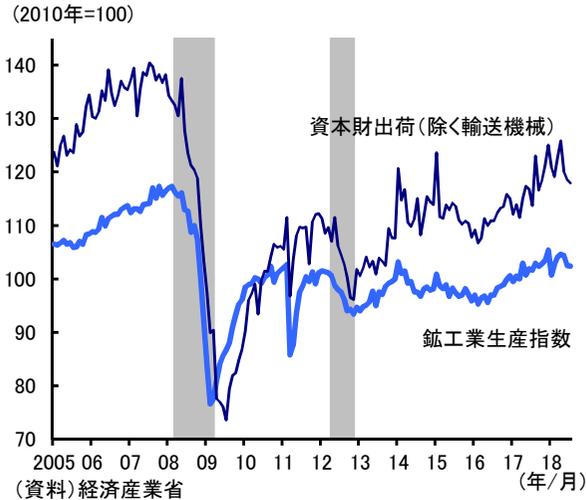
景気

CI一致指数は、鉱工業生産指数の低下を背景に、2ヵ月連続の低下



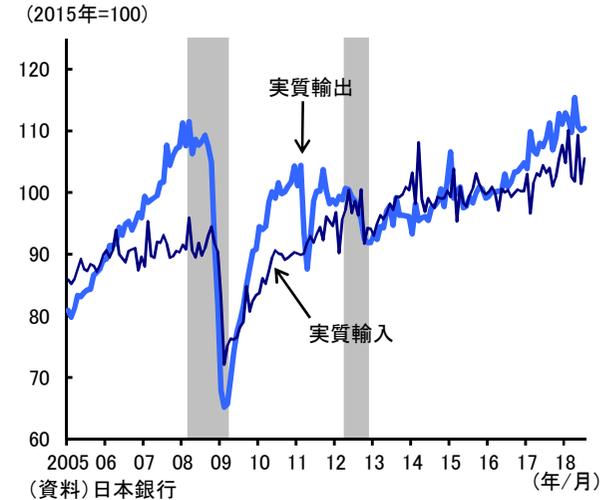
企業

鉱工業生産は西日本豪雨の影響や輸出の増勢鈍化を背景に、3ヵ月連続の減産



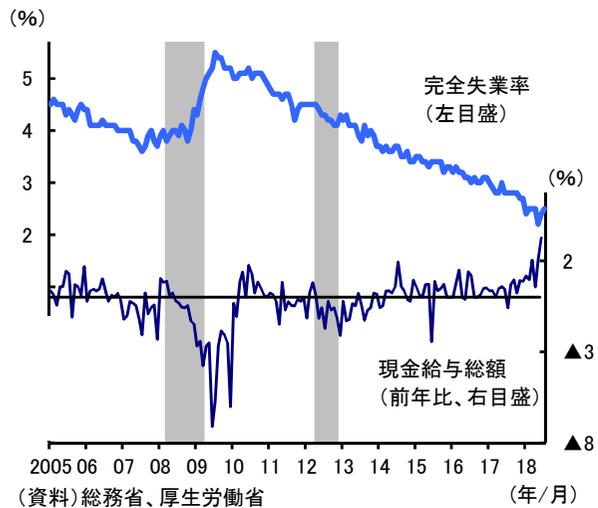
外需

輸出は増勢鈍化
輸入は鉱物性燃料を中心に増加



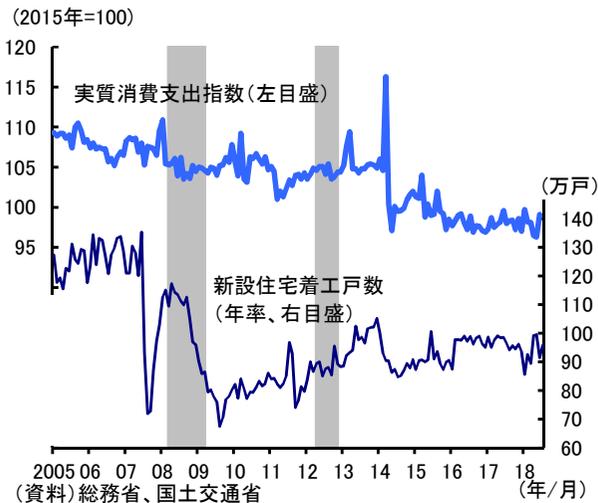
雇用所得

失業率は25年ぶりの低水準圏
名目賃金は特別給与の伸びが拡大



家計

実質消費は耐久財を中心に増加
住宅着工は一進一退の動き



物価

原油高により企業物価は上昇
消費者物価は横ばい圏内の動き



※シャドー部は景気後退期

■ 鉱工業生産は足踏みが続く一方、家計部門は堅調

◆ 4～6月期の成長率はプラス転化

4～6月期の実質GDP（1次速報値）は、前期比年率+1.9%と2四半期ぶりのプラス成長。設備投資が堅調を維持したほか、個人消費も高めの伸びに。個人消費は、生鮮食品価格の騰勢が一服したことに加え、所得の伸びも拡大したことが押し上げに寄与。一方、輸出の増勢はさらに鈍化。内訳をみると、米国やEU向けが減少。

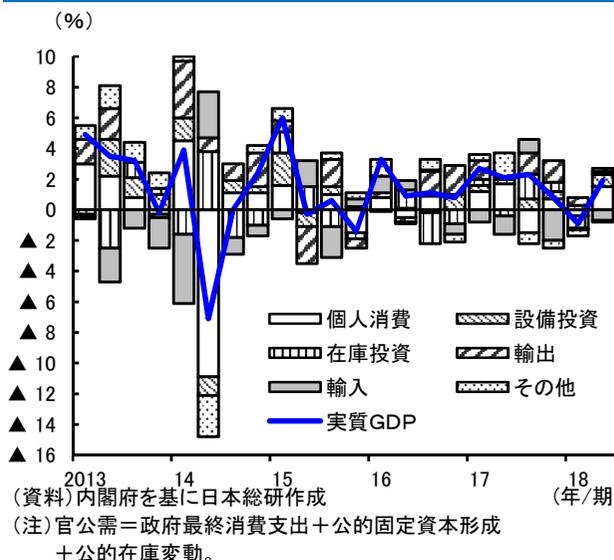
◆ 鉱工業生産は足踏み

7月の鉱工業生産指数は前月比▲0.1%と、事前の増産予想から下振れ。西日本豪雨に伴う工場の稼働停止や輸出の増勢鈍化によって、輸送機械やはん用・生産用・業務用機械で生産が減少。もっとも、8月には前月比+5.6%（経済産業省先行き試算値+1.2%）、9月には同+0.5%の上昇と、挽回生産などを背景に持ち直す計画。

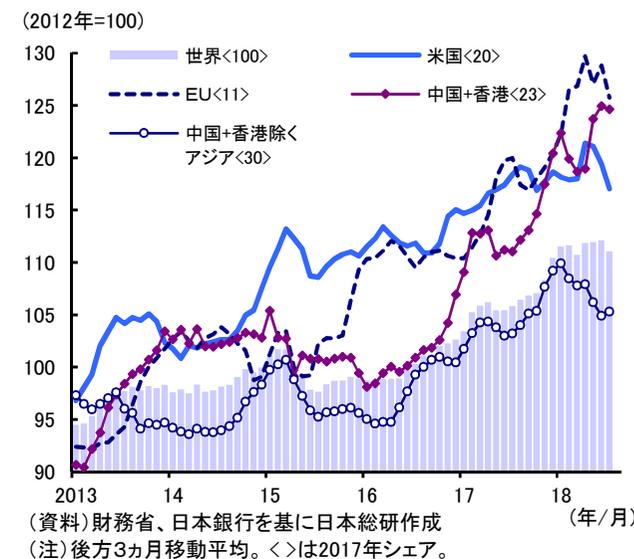
◆ 雇用・所得環境は良好

雇用・所得環境は改善傾向が持続。7月の有効求人倍率は1.63倍と前月よりも+0.01改善。新規求人が高い伸びを続けるなど、労働需給は引き続き逼迫。失業率は2.5%と前月比+0.1%ポイント悪化したものの、約25年ぶりの低水準圏。6月の現金給与総額は所定内・所定外・特別給与のすべてが高めの伸びとなった結果、前年比+3.6%と増勢が加速。

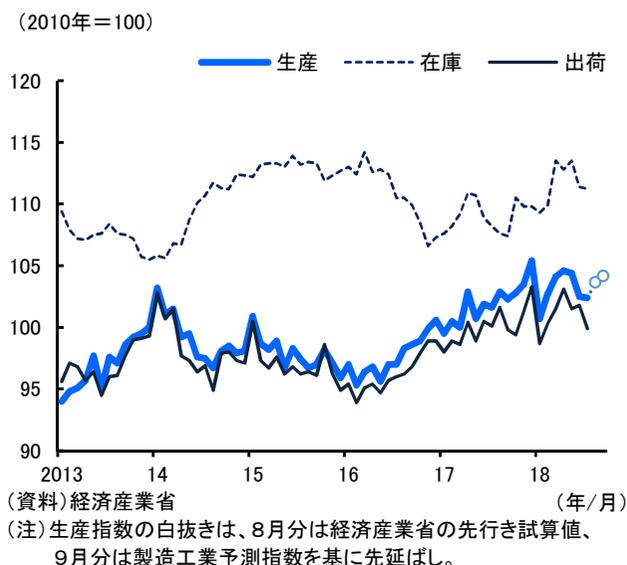
実質GDP成長率(前期比年率)



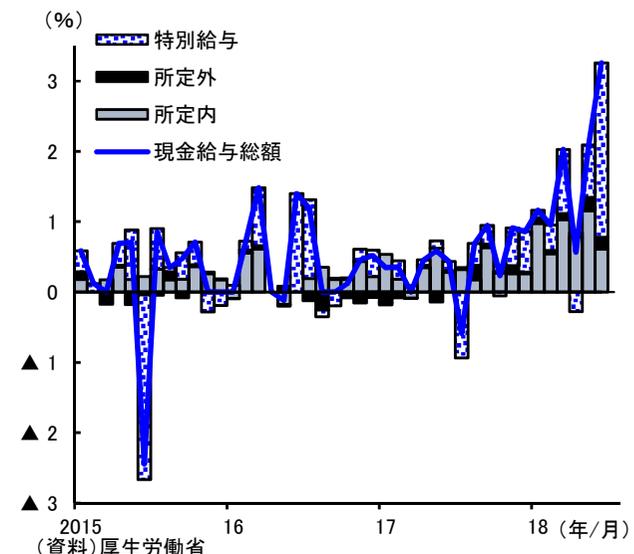
実質輸出(季調値)



鉱工業指数(季調値)



現金給与総額(前年比)



輸出は緩やかに増加

◆輸出は増勢鈍化

わが国輸出は、昨年末に加速した後、年初以降は足踏み。

財別にみると、電子部品・デバイス類が、年前半にスマートフォン需要の一般などから増勢が鈍化していたものの、足許ではアジア向けのスマホ関連部品の需要が再び増え、やや持ち直し。資本財は、世界的な設備投資需要の回復を背景に、引き続き堅調に推移。一方、輸送機械は弱含み。7月の西日本豪雨を受けた一部自動車メーカーの操業休止が影響した模様。

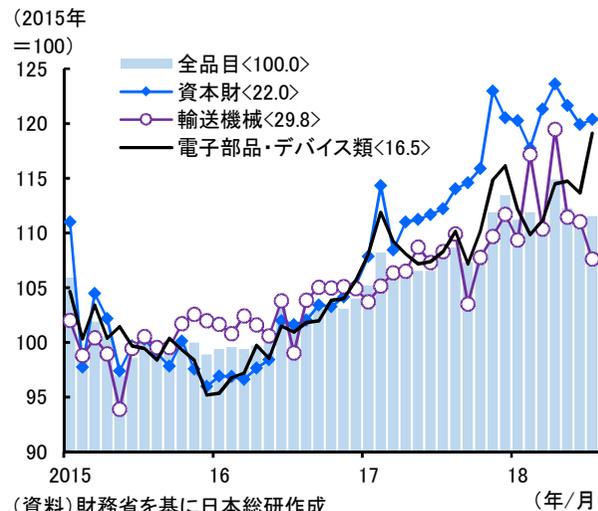
◆先行きは緩やかに増加

先行きは、輸送機械や資本財を中心に緩やかに増加する見通し。輸送機械は、西日本豪雨の影響が剥落するにつれ、持ち直す見込み。

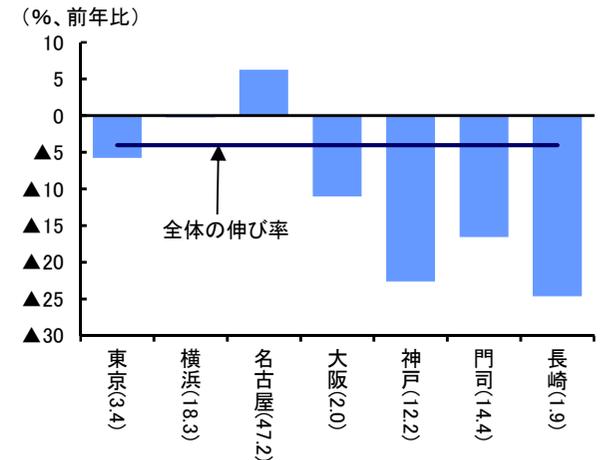
資本財も、主要輸出先であるアジア新興国で、製造設備の高度化やインフラ関連の投資需要が拡大。各国・地域の製造業PMIをみても、韓国を除けば、概ね景気拡大を示す50超の水準が持続。

ただし、米国トランプ政権の強硬な通商政策に端を発する貿易摩擦の激化がリスク。米政権が、自動車および関連部品の関税引き上げに踏み切れば、わが国輸出を下押し。さらに、米中で関税引き上げの応酬となれば、世界を巻き込んで貿易取引が停滞する懸念も。

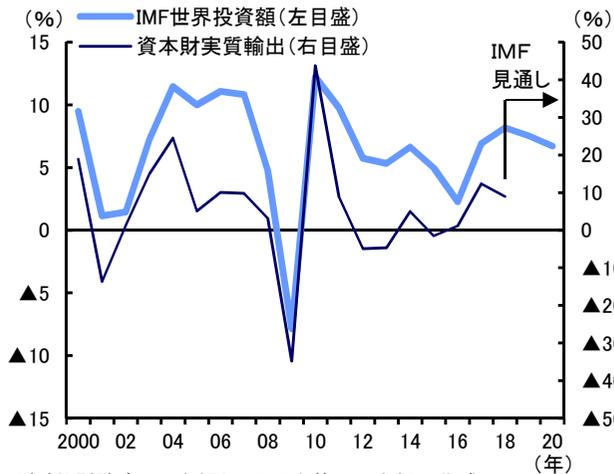
品目別の実質輸出(季調値)



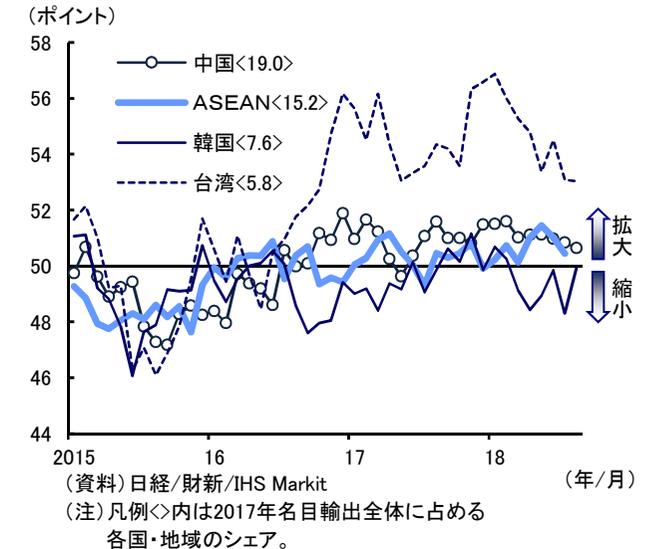
税関別の輸送機械輸出額(2018年7月)



世界投資額と資本財実質輸出(前年比)



主要輸出相手国製造業PMI



企業収益が堅調なか、設備投資は増加基調

◆企業収益は堅調

企業収益は堅調が持続。法人企業統計季報によると、4～6月期は2四半期連続の増収増益。営業利益、経常利益は過去最高を更新。

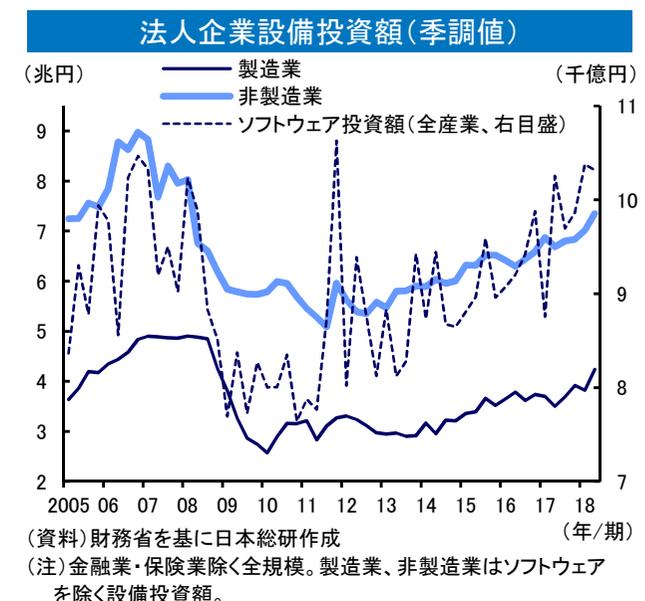
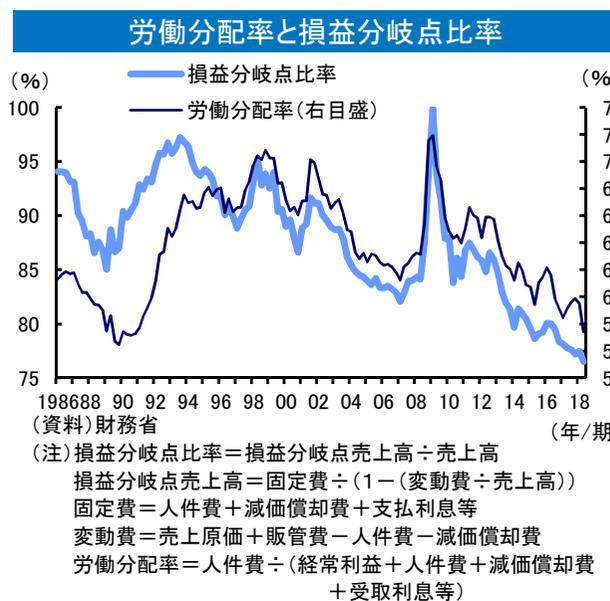
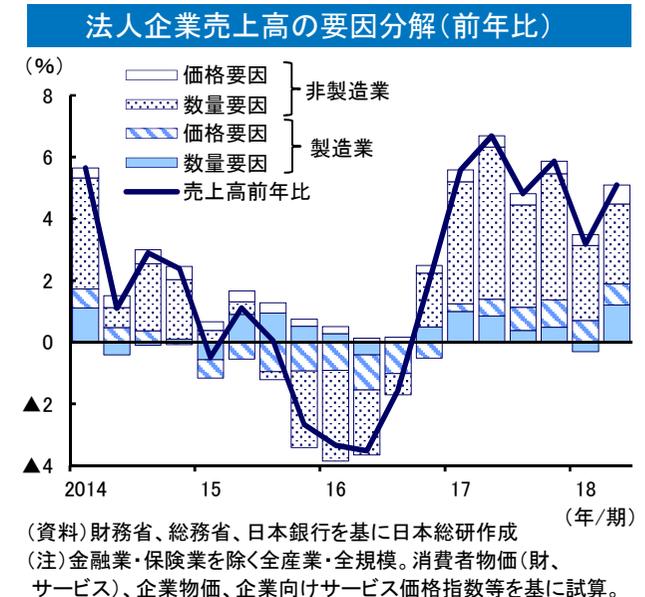
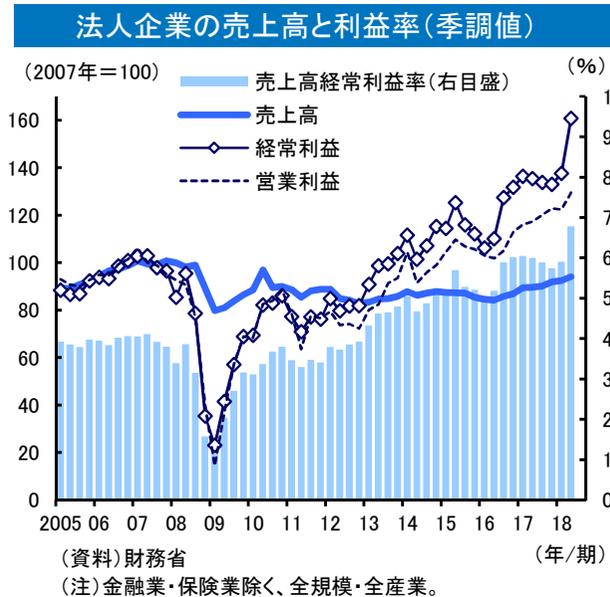
個人消費、設備投資の持ち直しのほか、財・サービスの販売価格上昇が売上増加に寄与。また、海外子会社からの配当等、営業外収益が大幅に増加。人手不足の深刻化を背景とした人件費の増加は引き続き収益下押し要因となったものの、売上がそれ以上に増加した結果、労働分配率は低下。

先行きも、企業収益は緩やかな回復が続く見込み。変動費の抑制などで収益体質を強化してきた結果、損益分岐点比率が大きく低下。売上の増加が本業の利益拡大に結びつきやすい構図に。

◆設備投資は増加基調

設備投資は、潤沢なキャッシュフローのもとで、人手不足を背景とした合理化・省力化投資等を中心に増加基調。

もともと、人口減少下で国内の成長見通しが高まりにくい状況下、収益の改善に比べると設備投資の勢いは緩慢。さらに、米中貿易摩擦の激化や、それを受けた円高の進行などで、収益の先行きに対する不安が強まれば、設備投資意欲が減退するリスクも。



所得は堅調に回復

◆改善続く雇用・所得環境

雇用情勢は改善が持続。2015年半ば以降、正規雇用者の増加基調が定着し、足許では増加ペースがやや加速。男性では非正規雇用者が前年差減少に転じたことから、正規雇用への転換が進んでいる模様。雇用は質量ともに改善していると判断。

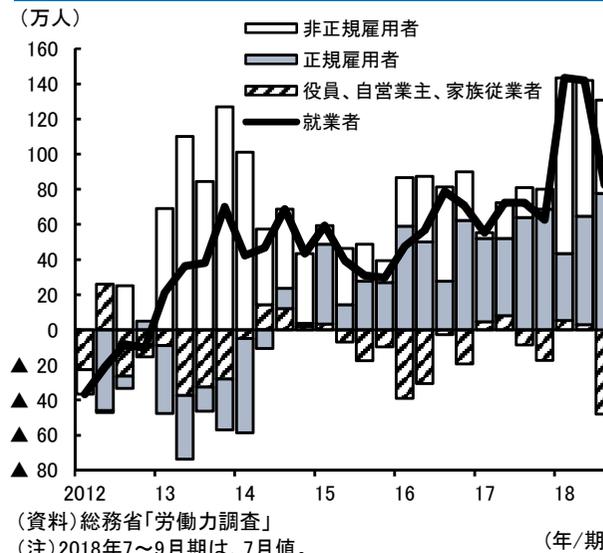
名目賃金の伸びもここに来て加速。フルタイム労働者における所定内給与の上昇ペースの加速と、好業績を背景とした特別給与の増加が要因。

◆実質所得は堅調に拡大

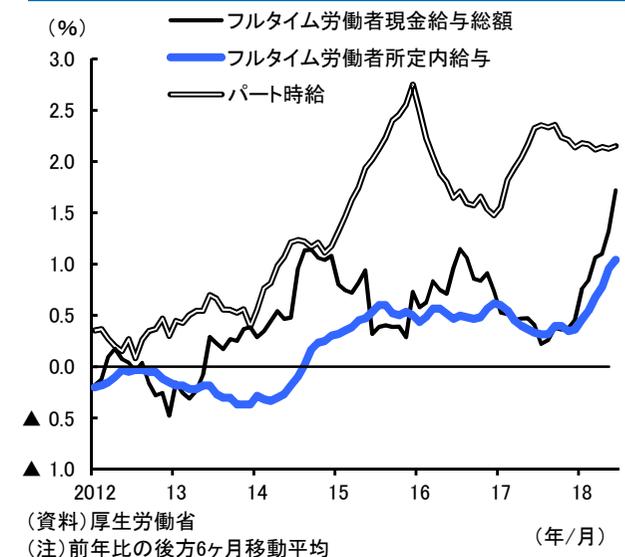
先行きを展望すると、景気回復を受けて雇用、名目賃金ともに改善が続く見込み。全業種でバブル期以来の人手不足状態になっており、労働需給は逼迫した状況が続く公算大。今年の春闘賃上げ率がここ数年では高めの水準となったことから、名目賃金も前年比1%を上回る伸びが続く見通し。

さらに、2018年1～3月期の実質所得を押し下げた物価上昇圧力もピークアウト。年内は、実質雇用者報酬は前年比2%台後半～3%台の伸びが続くと予想。もっとも、2019年以降は、物価上昇などを受けて増勢鈍化の見込み。

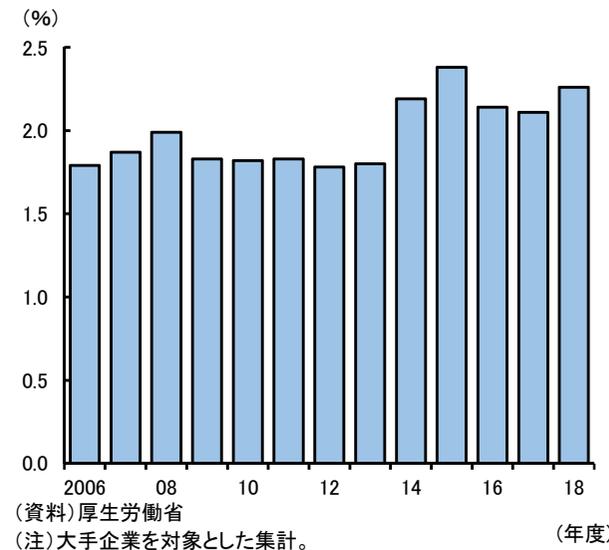
就業者数(前年差)



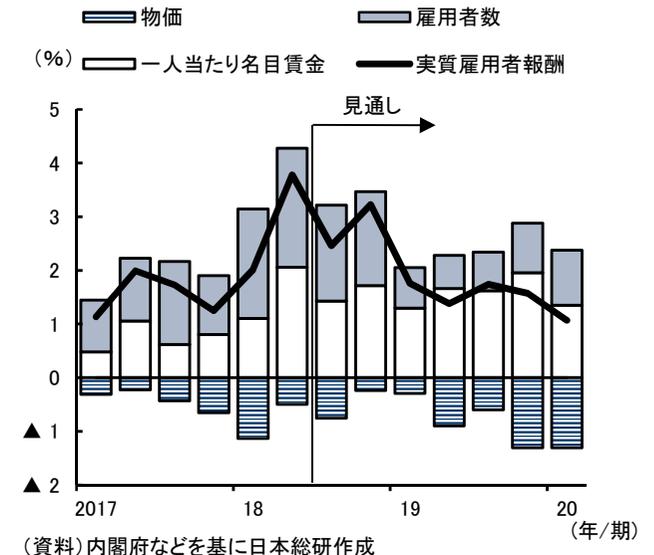
賃金上昇率(前年比)



春闘賃上げ率



実質雇用者報酬(前年比)



個人消費は持ち直し

◆個人消費は持ち直しの動き

個人消費は回復基調。雇用・所得環境の改善を背景に、外食売上高で前年比プラスが継続するなど、サービスを中心に回復が持続。

もともと、7月は、記録的な猛暑や豪雨、台風といった天候要因による下振れが顕在化。百貨店や外食では、外出控えによって来客数が減少。一方、気温上昇を受け、エアコンや飲料の売上が増加しており、消費下支えに作用。

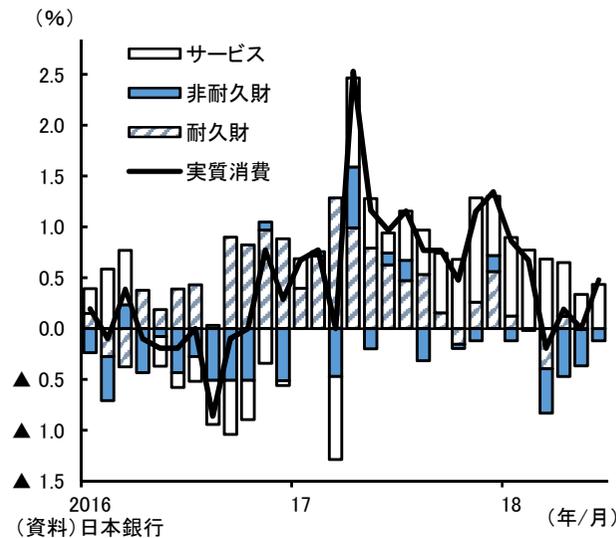
先行きを展望すると、天候要因などで上下に振れやすくなっているものの、雇用・所得環境の改善が続くことから、個人消費は緩やかな持ち直しが続く見通し。

◆住宅投資は弱い動きが持続

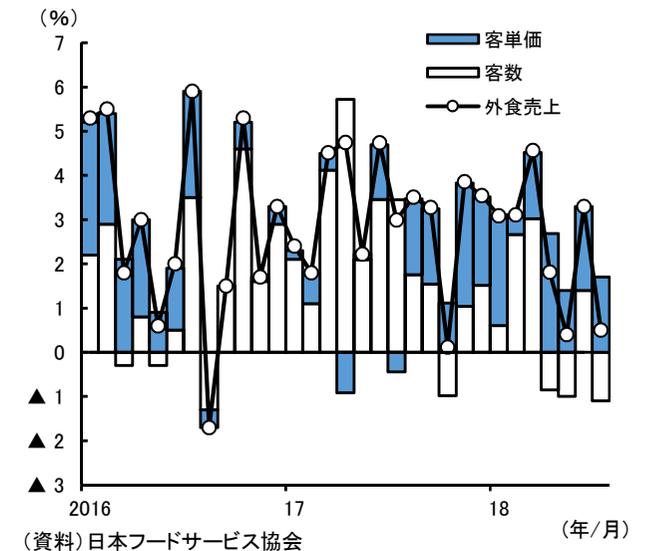
住宅着工戸数は弱い動きが続く見通し。

持家は、雇用・所得環境の改善に加え、2019年10月の消費増税前の駆け込み需要を背景に、持ち直していく見込み。一方、分譲住宅では、首都圏を中心に用地の取得が難しい状況が続き、着工水準は下がる公算大。さらに、貸家では、一部のサブリース契約の問題化や、空室率の上昇を受けた供給過剰懸念などを背景に、前年割れが続く見込み。

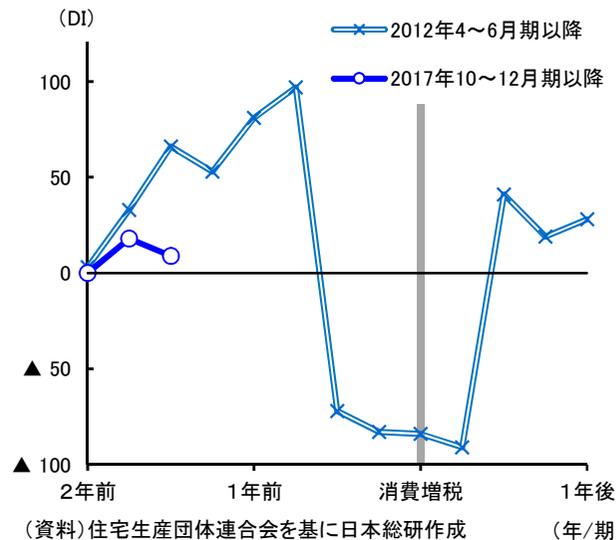
日銀消費活動指数(前年比)



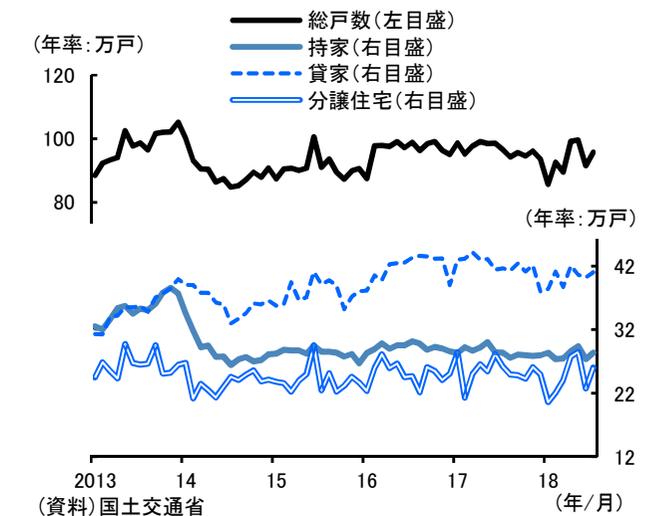
外食産業売上高(前年比)



住宅景況判断指数(戸建注文住宅)



住宅着工件数(季調値)



トピックス：積極姿勢に転じた中小製造業の設備投資

◆中小製造業の設備投資が積極化

中小製造業では、設備投資マインドが大幅に改善。2018年度の設備投資計画をみると、2013年度以来の前年比+10%を超える伸びに。機械受注をみても、中小向けの比率が高いと言われる代理店経由が、春先から大幅に増加。

◆事業環境が好転

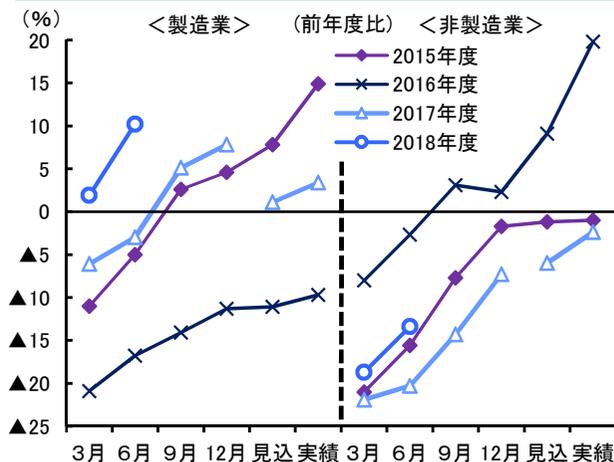
設備投資の積極化の背景として、中小製造業の事業環境の変化が指摘可能。

第1に、収益体質の大幅な改善。中小製造業の売上高経常利益率は急上昇しており、足許ではバブル期を上回る水準に。この要因として、損益分岐点売上高比率の低下で利益が増えやすい構造になったことや、需給ギャップの解消などで価格転嫁しやすくなったことが指摘可能。

第2に、人手不足の深刻化。大企業を上回るペースで雇用不足感が強まっている状況。今後も労働需給がさらに逼迫すると予想されるなか、省力化投資に乗り出す中小企業が拡大。

第3に、更新投資ニーズの高まり。設備の平均年齢（ビンテージ）は、大企業と異なり、趨勢的に上昇。キャッシュフローの改善もあって、最新の設備に入れ替える中小企業が増加。

中小企業の設備投資計画の修正状況

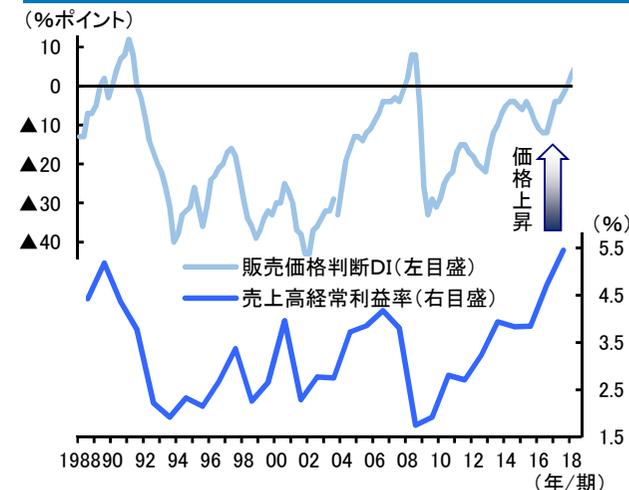


(資料)日本銀行

(注1)ソフトウェアを含み、土地・研究開発投資を含まない。

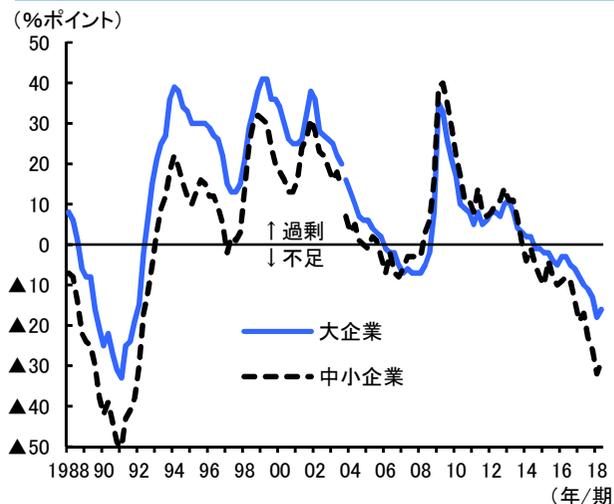
(注2)2017年度は調査対象企業の見直しに伴い不連続。

中小製造業の利益率と販売価格



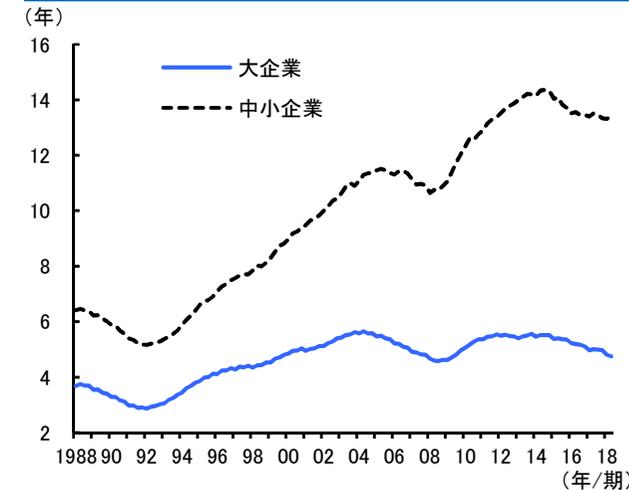
(資料)日本銀行、財務省を基に日本総研作成

製造業の雇用人員判断DI



(資料)日本銀行

製造業の設備ビンテージ



(資料)財務省を基に日本総研作成

(注)ストック額や新設投資額などから算出した設備の平均年齢。

内需にけん引される形で景気回復が続く見込み

◆内需が景気回復をけん引

先行きを展望すると、国内需要にけん引される形で景気回復が続く見込み。企業は、研究開発投資や設備の更新投資、省力化投資を積極化。収益環境の改善を背景に、中小企業の設備投資マインドも好転しており、底堅い投資需要が景気を下支える見込み。

企業は人件費の拡大にも前向きになってきており、賃金の上昇ペースはやや高まる方向。これまでのような雇用者数の増加が家計所得を押し上げるだけでなく、労働者一人一人の賃金が上昇するより実感の伴った所得増加へとシフトすることで、個人消費にも徐々に明るさが出てくる見込み。

結果として、2018年度は、1%程度とみられる潜在成長率を上回る成長が続く見通し。

◆米国発の貿易戦争が下振れリスク

もともと、米トランプ政権の保護主義的な通商政策が景気を下押すリスクも。自動車への関税引き上げなどの措置が打ち出されれば、輸出の下振れは避けられず。さらに、米国の関税引き上げと中国などの報復措置の応酬に歯止めがかからないことで、世界的な貿易戦争に突入する懸念も。この場合、世界的な貿易活動の停滞に伴う景気の下振れに加え、リスク回避に伴う円の急騰・株価の急落が、輸出、設備投資、個人消費を下押しすることで、景気腰折れに至るリスクも高まる公算。

わが国主要経済指標の予測値(2018年9月4日時点)

(四半期は前期比年率、%、%ポイント)

	2017年		2018年				2019年				2020年	(四半期は前期比年率、%、%ポイント)			
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
	(実績)		(予測)									(実績)		(予測)	
実質GDP	2.3	0.8	▲ 0.9	1.9	2.0	1.9	1.6	1.3	2.3	▲ 3.7	1.3	1.2	1.6	1.3	1.0
個人消費	▲ 2.8	1.4	▲ 0.8	2.8	1.6	1.5	1.5	1.8	5.2	▲ 9.1	1.3	0.3	0.8	1.1	0.8
住宅投資	▲ 5.2	▲ 11.6	▲ 8.7	▲ 10.3	1.0	3.3	8.1	0.0	▲ 2.4	▲ 9.9	▲ 7.2	6.2	▲ 0.3	▲ 5.1	▲ 0.3
設備投資	4.8	3.1	2.0	5.2	4.0	3.8	3.8	2.8	2.7	2.3	2.3	1.2	3.1	3.8	3.0
在庫投資 (寄与度)	(1.6)	(0.6)	(▲ 0.8)	(0.2)	(▲ 0.4)	(0.1)	(0.0)	(▲ 0.1)	(▲ 0.5)	(0.3)	(0.3)	(▲ 0.3)	(0.1)	(0.0)	(▲ 0.1)
政府消費	0.3	0.2	0.0	0.9	1.0	1.0	1.0	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.7	0.7	0.7
公共投資	▲ 11.0	▲ 2.5	▲ 1.7	▲ 0.5	8.0	0.5	▲ 6.2	0.0	1.0	0.5	0.3	0.9	1.4	▲ 0.1	▲ 0.4
純輸出 (寄与度)	(2.3)	(▲ 0.6)	(0.3)	(▲ 0.5)	(0.4)	(0.1)	(0.1)	(▲ 0.1)	(▲ 0.7)	(1.0)	(▲ 0.0)	(0.8)	(0.4)	(0.1)	(0.0)
輸出	8.6	8.8	2.6	0.8	4.3	3.4	3.4	3.0	3.0	2.6	2.6	3.6	6.3	3.7	3.1
輸入	▲ 5.7	14.0	0.7	3.9	2.2	3.0	3.0	3.6	6.8	▲ 3.1	2.7	▲ 0.8	4.1	3.3	3.0

(前年同期比、%)

名目GDP	2.1	2.0	1.5	1.1	1.0	1.4	2.6	2.5	2.6	1.6	1.5	1.0	1.7	1.5	2.1
GDPデフレーター	0.1	0.1	0.5	0.1	0.1	0.2	0.7	0.7	0.8	1.3	1.2	▲ 0.2	0.1	0.3	1.0
消費者物価指数 (除く生鮮)	0.6	0.9	0.8	0.8	1.1	1.0	1.1	1.0	1.0	2.0	2.0	▲ 0.2	0.7	1.0	1.5
(除く生鮮、消費税)	0.6	0.9	0.8	0.8	1.1	1.0	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	▲ 0.2	0.7	1.0	1.0
鉱工業生産	3.9	4.6	2.3	1.9	1.2	0.2	1.3	0.4	1.5	0.8	0.6	1.1	4.1	1.1	0.8

完全失業率 (%)	2.8	2.7	2.5	2.4	2.4	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	3.0	2.7	2.4	2.3
経常収支 (兆円)	7.01	4.33	5.81	4.26	6.71	3.88	6.36	4.51	6.34	4.20	6.90	21.02	21.74	21.91	21.95
対名目GDP比 (%)	5.2	3.0	4.2	3.1	4.9	2.7	4.5	3.2	4.6	2.8	4.8	3.9	4.0	3.9	3.9
円ドル相場 (円/ドル)	111	113	108	109	111	112	112	112	111	110	109	108	111	111	111
原油輸入価格 (ドル/バレル)	50	58	67	71	76	70	68	68	68	68	68	47	57	71	68

(資料)内閣府、総務省、経済産業省、財務省などを
基に日本総研作成

(注)2018年9月3日公表の2018年4~6月期2次
QE予測は反映せず。

海外経済の前提

(前年比、%)

	2017年	2018年	2019年
	(実績)	(予測)	
米国	2.2	2.8	2.5
ユーロ圏	2.4	2.1	1.7
中国	6.9	6.7	6.6

過去の実質GDP予測値

(前年比、%)

	2017年度	2018年度	2019年度
	(予測)	(予測)	
6月号	1.5	1.1	0.9
7月号	1.6	1.3	1.0
8月号	1.6	1.3	1.0

物価は前年比+1%近傍、長期金利は0.1%近辺で推移

◆物価は横ばい圏内の動き

コアCPI上昇率は、食料の伸びが鈍化する一方、エネルギーの伸びが拡大したため、前年比横ばい圏内で推移。

先行きは、雇用・所得環境の改善を背景に、需給面からの上昇圧力は強まるものの、エネルギー価格の騰勢が徐々に鈍化するため、前年比+1%近傍で推移する見通し。

◆金融政策の枠組み変更

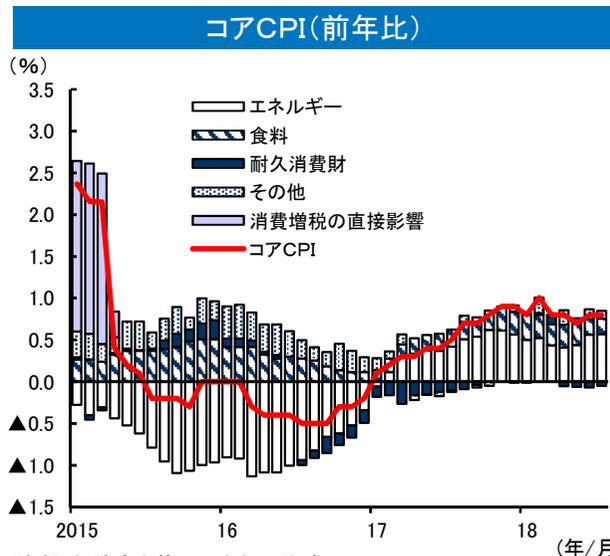
日銀は、7月の金融政策決定会合で、金融政策を微修正。緩和姿勢の当面の継続を約束する一方、10年物国債金利の操作目標はゼロ%程度としながらも、ある程度の金利変動を容認する姿勢に変更。

短期金利については、現行の目標水準(▲0.1%)を維持するものの、適用対象である政策金利残高は半減。

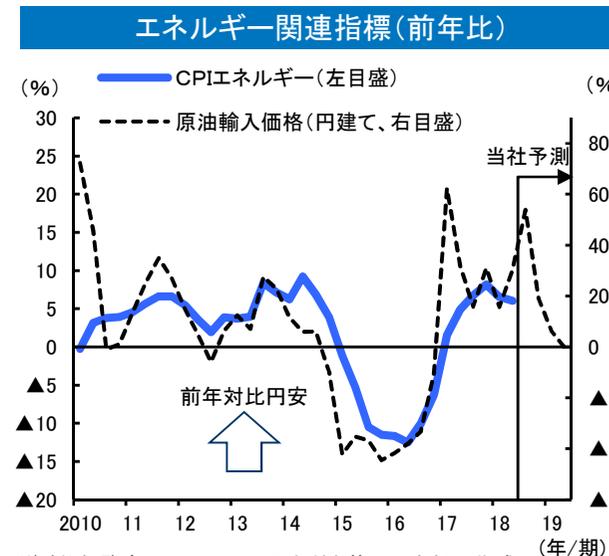
◆長期金利は0.1%近辺で推移

長期金利は、上旬は日銀による金利変動幅拡大の容認を受け、0.1%を幾分上回るなど、上限を試す展開。中旬以降は、トルコ通貨の急落などを端緒に、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、0.1%近辺で推移。

先行きは、米長期金利上昇に伴い上振れ圧力が高まるとみられるものの、日銀が念頭に置く変動幅が0.0~0.2%程度と見込まれるため、0.1%を中心に推移する見通し。

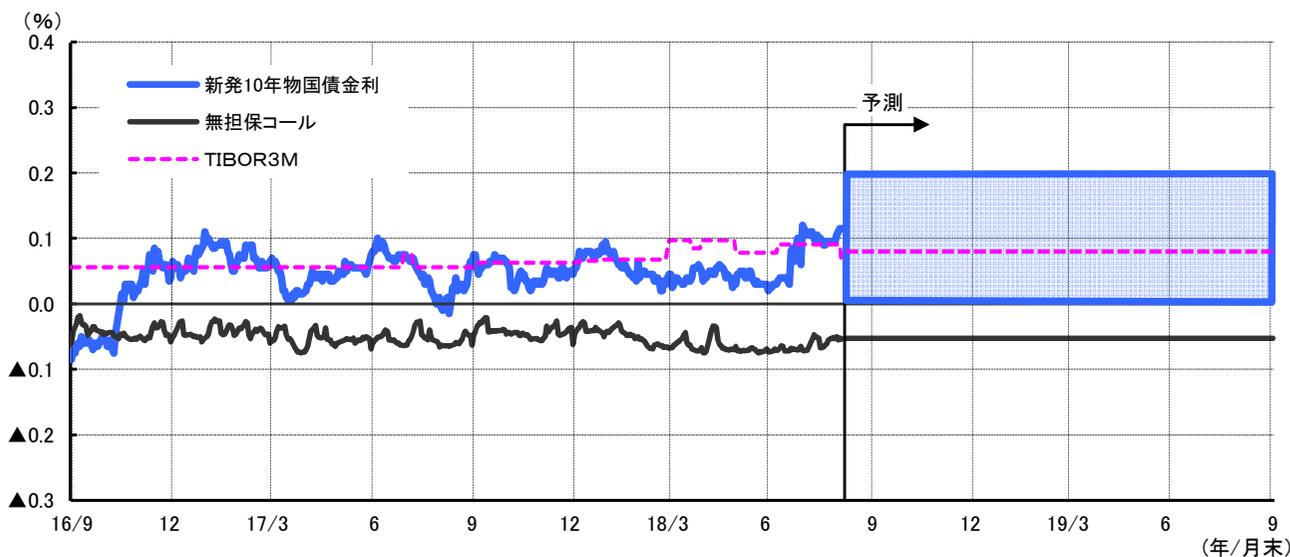


(資料)総務省を基に日本総研作成
(注)エネルギー、食料、耐久消費財などは消費税の影響を除く。



(資料)総務省、Bloomberg L.P.などを基に日本総研作成
(注)CPIエネルギーの直近は2018年1~3月期実績値。

わが国主要金利の見通し



内外市場データ (月中平均)

	短期金利	ユーロ円 (TIBOR)		円・円スワップ			国債		プライムレート		為替相場		株相場		米国市場				欧州市場	
	無担0/N (%)	3ヵ月 (%)	6ヵ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年物 (%)	2年物 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$ (NY終値)	¥/Eur (NY終値)	日経平均 株価 (円)	TOPIX (ポイント)	FF 0/N (%)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)	NYダウ 工業株 (ドル)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)
15/1	0.09	0.18	0.26	0.14	0.21	0.47	▲ 0.02	0.28	1.48	1.06	118.33	137.63	17274.40	1389.14	0.11	0.25	1.88	17542.26	0.06	0.45
15/2	0.09	0.17	0.26	0.15	0.25	0.56	0.04	0.38	1.48	1.12	118.78	134.86	18053.20	1461.08	0.11	0.26	1.98	17945.41	0.05	0.35
15/3	0.09	0.17	0.25	0.15	0.26	0.55	0.02	0.38	1.48	1.15	120.37	130.33	19197.57	1553.83	0.11	0.27	2.04	17931.74	0.03	0.26
15/4	0.08	0.17	0.25	0.15	0.24	0.52	0.01	0.33	1.48	1.15	119.52	129.29	19767.92	1590.91	0.12	0.28	1.92	17970.51	0.01	0.16
15/5	0.09	0.17	0.25	0.15	0.28	0.61	0.00	0.40	1.48	1.15	120.84	134.80	19974.19	1626.44	0.12	0.28	2.20	18124.71	▲ 0.01	0.58
15/6	0.09	0.17	0.25	0.15	0.29	0.66	0.01	0.47	1.48	1.15	123.68	138.96	20403.84	1652.72	0.13	0.28	2.36	17927.22	▲ 0.01	0.83
15/7	0.09	0.17	0.25	0.15	0.27	0.61	0.01	0.44	1.48	1.15	123.33	135.63	20372.58	1637.30	0.13	0.29	2.32	17795.02	▲ 0.02	0.76
15/8	0.09	0.17	0.25	0.13	0.23	0.56	0.01	0.39	1.48	1.15	123.06	137.11	19919.09	1613.59	0.14	0.32	2.16	17061.59	▲ 0.03	0.67
15/9	0.09	0.17	0.25	0.11	0.20	0.52	0.02	0.35	1.48	1.12	120.09	134.95	17944.22	1455.30	0.14	0.33	2.16	16339.95	▲ 0.04	0.68
15/10	0.09	0.17	0.25	0.11	0.19	0.49	0.01	0.32	1.48	1.10	120.16	134.81	18374.11	1506.15	0.12	0.32	2.06	17182.28	▲ 0.05	0.55
15/11	0.10	0.17	0.25	0.10	0.17	0.47	▲ 0.00	0.31	1.48	1.10	122.63	131.56	19581.77	1582.45	0.12	0.37	2.26	17723.77	▲ 0.09	0.55
15/12	0.09	0.17	0.25	0.10	0.17	0.44	▲ 0.02	0.30	1.48	1.10	121.58	132.51	19202.58	1551.34	0.24	0.53	2.23	17542.85	▲ 0.13	0.60
16/1	0.09	0.17	0.25	0.09	0.14	0.39	▲ 0.02	0.23	1.48	1.10	118.29	128.54	17302.30	1412.22	0.34	0.62	2.08	16305.25	▲ 0.15	0.51
16/2	0.04	0.11	0.18	▲ 0.12	▲ 0.09	0.18	▲ 0.19	0.02	1.48	1.03	114.67	127.31	16346.96	1324.59	0.38	0.62	1.77	16299.90	▲ 0.18	0.23
16/3	▲ 0.01	0.10	0.16	▲ 0.12	▲ 0.08	0.13	▲ 0.20	▲ 0.06	1.48	0.97	112.95	125.83	16897.34	1358.30	0.36	0.63	1.88	17302.14	▲ 0.23	0.22
16/4	▲ 0.04	0.08	0.14	▲ 0.13	▲ 0.09	0.12	▲ 0.25	▲ 0.09	1.48	0.95	109.58	124.25	16543.47	1335.67	0.37	0.63	1.80	17844.37	▲ 0.25	0.18
16/5	▲ 0.05	0.06	0.11	▲ 0.12	▲ 0.08	0.10	▲ 0.24	▲ 0.11	1.48	0.95	109.00	123.13	16612.67	1334.43	0.37	0.64	1.80	17692.32	▲ 0.26	0.16
16/6	▲ 0.04	0.06	0.11	▲ 0.14	▲ 0.13	0.01	▲ 0.26	▲ 0.15	1.48	0.95	105.46	118.55	16068.81	1288.83	0.38	0.65	1.64	17754.87	▲ 0.27	0.01
16/7	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.15	▲ 0.18	▲ 0.07	▲ 0.33	▲ 0.25	1.48	0.91	104.09	115.17	16168.32	1291.30	0.39	0.70	1.49	18341.18	▲ 0.30	▲ 0.09
16/8	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.06	▲ 0.05	0.07	▲ 0.19	▲ 0.08	1.48	0.94	101.31	113.51	16586.07	1303.93	0.40	0.81	1.56	18495.19	▲ 0.30	▲ 0.07
16/9	▲ 0.05	0.06	0.10	▲ 0.09	▲ 0.07	0.08	▲ 0.23	▲ 0.04	1.48	0.95	101.83	114.18	16737.04	1334.42	0.40	0.85	1.62	18267.40	▲ 0.30	▲ 0.05
16/10	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.05	▲ 0.05	0.08	▲ 0.26	▲ 0.06	1.48	0.95	103.85	114.48	17044.51	1360.45	0.40	0.88	1.75	18184.55	▲ 0.31	0.04
16/11	▲ 0.04	0.06	0.10	0.00	0.03	0.14	▲ 0.20	▲ 0.01	1.48	0.95	108.63	117.09	17689.54	1409.47	0.41	0.91	2.15	18697.33	▲ 0.31	0.24
16/12	▲ 0.04	0.06	0.10	0.04	0.09	0.24	▲ 0.18	0.06	1.48	0.95	116.12	122.35	19066.03	1522.68	0.54	0.98	2.49	19712.42	▲ 0.32	0.29
17/1	▲ 0.05	0.06	0.10	0.03	0.08	0.23	▲ 0.22	0.06	1.48	0.95	114.92	122.17	19194.06	1534.42	0.65	1.03	2.43	19908.15	▲ 0.33	0.35
17/2	▲ 0.04	0.06	0.10	0.05	0.11	0.28	▲ 0.23	0.09	1.48	0.95	112.99	120.23	19188.73	1537.60	0.66	1.04	2.42	20424.14	▲ 0.33	0.32
17/3	▲ 0.04	0.06	0.10	0.05	0.10	0.26	▲ 0.26	0.07	1.48	0.95	112.92	120.67	19340.18	1552.10	0.79	1.13	2.48	20823.06	▲ 0.33	0.39
17/4	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.07	0.23	▲ 0.21	0.03	1.48	0.95	110.04	117.93	18736.39	1494.81	0.90	1.16	2.29	20684.69	▲ 0.33	0.25
17/5	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.08	0.24	▲ 0.17	0.04	1.48	0.95	112.24	124.09	19726.76	1571.62	0.91	1.19	2.30	20936.81	▲ 0.33	0.38
17/6	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.10	0.24	▲ 0.12	0.06	1.48	0.95	110.97	124.70	20045.63	1603.77	1.04	1.26	2.18	21317.80	▲ 0.33	0.29
17/7	▲ 0.05	0.06	0.10	0.05	0.12	0.27	▲ 0.11	0.08	1.48	0.99	112.38	129.59	20044.86	1620.17	1.15	1.31	2.31	21581.25	▲ 0.33	0.54
17/8	▲ 0.05	0.06	0.10	0.03	0.08	0.23	▲ 0.12	0.05	1.48	1.00	109.84	129.81	19670.17	1612.95	1.16	1.31	2.20	21914.08	▲ 0.33	0.42
17/9	▲ 0.06	0.06	0.10	0.02	0.08	0.22	▲ 0.13	0.03	1.48	1.00	110.81	131.93	19924.40	1638.79	1.15	1.32	2.20	22173.41	▲ 0.33	0.41
17/10	▲ 0.04	0.06	0.09	0.04	0.11	0.26	▲ 0.14	0.07	1.48	1.00	112.93	132.75	21267.49	1721.72	1.15	1.36	2.36	23036.24	▲ 0.33	0.43
17/11	▲ 0.05	0.06	0.09	0.03	0.10	0.25	▲ 0.18	0.04	1.48	1.00	112.82	132.48	22525.15	1783.26	1.16	1.43	2.35	23557.93	▲ 0.33	0.36
17/12	▲ 0.04	0.06	0.10	0.04	0.10	0.26	▲ 0.15	0.05	1.48	1.00	112.93	133.68	22769.89	1809.61	1.30	1.60	2.41	24545.38	▲ 0.33	0.35
18/1	▲ 0.04	0.07	0.12	0.05	0.12	0.28	▲ 0.13	0.08	1.48	1.00	110.97	135.28	23712.21	1882.57	1.41	1.73	2.57	25804.02	▲ 0.33	0.55
18/2	▲ 0.04	0.07	0.12	0.05	0.12	0.29	▲ 0.15	0.07	1.48	1.00	107.86	133.14	21991.68	1766.57	1.42	1.87	2.86	24981.55	▲ 0.33	0.72
18/3	▲ 0.06	0.07	0.12	0.05	0.10	0.26	▲ 0.15	0.05	1.48	1.00	106.10	130.87	21395.51	1716.27	1.51	2.17	2.84	24582.17	▲ 0.33	0.59
18/4	▲ 0.06	0.09	0.12	0.05	0.11	0.26	▲ 0.14	0.05	1.48	1.00	107.62	132.08	21868.79	1737.42	1.69	2.35	2.87	24304.21	▲ 0.33	0.55
18/5	▲ 0.06	0.10	0.13	0.05	0.11	0.27	▲ 0.13	0.05	1.48	1.00	109.71	129.59	22590.05	1783.96	1.70	2.34	2.98	24572.53	▲ 0.33	0.52
18/6	▲ 0.07	0.08	0.12	0.05	0.11	0.26	▲ 0.13	0.04	1.48	1.00	110.13	128.55	22562.88	1762.48	1.82	2.33	2.91	24790.11	▲ 0.32	0.40
18/7	▲ 0.07	0.09	0.11	0.04	0.10	0.27	▲ 0.12	0.05	1.48	1.00	111.47	130.27	22309.06	1729.12	1.91	2.34	2.89	24978.23	▲ 0.32	0.36
18/8	▲ 0.06	0.09	0.11	0.05	0.13	0.33	▲ 0.11	0.11	1.48	1.00	111.03	128.22	22494.14	1721.03	1.91	2.32	2.89	25629.99	▲ 0.32	0.36